

岡山と中国を結ぶ日中友好のしんぶん

岡山と中国

2025年 8 月

令和 7 年 8 月

284号

信 条

この会は思想・信条、政党・政派の違いとらわれない

この会は広く各界各層の日中友好を願う人々の市民組織である

発行所 認定NPO法人 岡山市日中友好協会 〒700-0902 岡山市北区錦町 5-15

http://www.oka-rizhongyouxie.jp/
E-mail: oknittyu@yahoo.co.jp

☎ (086) 225-5068 FAX (086) 225-5041
郵便振替 01240-1-8821 加入者名 岡山市日中友好協会

発行人 土井章弘 1部200円 印刷 旭総合印刷株
編集人 松井三平

岡山市・洛陽市友好都市締結44周年記念 岡山市民友好訪問団

岡山市と洛陽市の友好都市締結44周年を記念した岡山市民友好訪問団が、4月22日から同26日の日程で洛陽市と上海を訪問した。訪問団は、岡山市日中友好協会の土井章弘会長を団長とする10人と、岡山市から中原健一副市長を団長とする岡山市公式訪問団、それに松田安義岡山市洛陽市友好都市議員連盟会長をはじめとする市議会議員訪問団も参加し、総勢は21人になった。

一行は、22日岡山空港を出発、上海経由で23日洛陽入り。洛陽空港で歓迎の花束贈呈を

受け市内に向かい、世界遺産・龍門石窟を見学後、洛陽市人民政府を表敬訪問、歓迎夕食会に臨んだ。

訪問団は現地ではそれぞれの団体ごとに分かれて、友好交流を深めた。調査が急びつちで進んでいる夏王朝二里頭遺跡博物館や三蔵法師の故居も見学した。

上海では25日、岡山市日中

宿琳副会長は、歓迎の挨拶



上海市人民対外友好協会の皆さんと

内山完造生誕140周年記念事業 シンポジウム 上海・10月、岡山・12月

内山完造生誕140周年 記念事業ご寄付のお礼

平素は、日中友好事業と当協会に對しまして、温かいご支持とご支援を賜っており、厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました

さて、今般「内山完造生誕140周年記念事業寄付」のお願いをいたしましたところ、会員の方々ははじめ、内山先生の郷里・井原市や、東京の内山書店、

そして地元財界の方々など多くの方々から貴重な浄財を頂戴しました。

今般、改めて事業のご報告をいたしますが、取り急ぎ紙面にてお礼に替えさせていただきます。

今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年8月

岡山市日中友好協会

会長 土井 章弘

（ご芳名は3面に掲載させていただきます。）

の中で「長年にわたり上海市友協と岡山市友協は教育、人文、民政、青少年等の分野で卓越した効果のある交流を行ってきた。岡山は内山完造氏や岡崎嘉平太氏等友好人士を輩出しており、特に本年は内山完造生誕140周年に当たる。」と力を込めた。

土井章弘会長もこれにこたえて「上海市とは長年にわたり深く内容ある交流の歴史を有しており、本年の内山完造生誕140周年記念事業に際しては、現在、内山完造関連資料の収集・整理を続けており、上海市友協の協力のもと、テーマに沿った記念事業を是非とも成功させたい」と強調した。

内山完造生誕140周年記念事業が本格的に動き出した。これまでに事前調査を終え、具体的な分析や写真撮影、資料確認、収蔵品リスト作りなどを進めている段階。

具体的事業スケジュールとしては、岡山と上海での記念展示会・シンポジウムの開催を決定。準備作業に入った。資料収集等にご協力いただいたのは、吉備路文学館、井原市文化財センター、芳井民俗資料館、芳井図書館、芳井生涯学習センター、成福寺など。

(2面へ続く)

2025

酷暑

お見舞い申し上げます

《50音順》

旭総合印刷株式会社

代表取締役社長

大 松 康 彦

岡山市北区内山下二丁目一〇一三
電話 二三二一三三三一

観光庁長官登録旅行業第1816号

(株)アジア・コミュニケーションズ

代表取締役

松 井 三 平

岡山市北区錦町五一ー五 南田ビル四階
電話 (086) 233-1103
FAX (086) 233-1173

エヴァホール

電話 (011) 051-0000

学校法人 岡山科学技術学園

理事長

瀬戸川 正彦

岡山市北区昭和町八番一〇号
電話 (086) 255-7771

地域医療支援病院

公益財団法人 操風会

岡山旭東病院

総院長 土井 章弘

岡山市中区倉田567-1
電話 086-276-3231



薛 剣 総領事

岡山へは、着任してから何度も訪れている。この地は、山河の美しさと悠久の文脈を誇るのみならず、天下を思い、道義を貫いた数多くの志士を輩出してきた。

140年前、中日友好の先駆者と称えられる内山完造先生も、この地で生まれた。

国境や民族を越え、戦火と平和を生き抜いた先生の足跡を振り返れば、平和の尊さや友好の重みが、より一層身にしみて感じられる。

20世紀初頭、内山先生は上海に渡り書店を開き、中国の進歩的な人士と広く交わり、中でも魯迅先生とは親交が深く、魯迅先生が危難に陥った時には幾度となく援助の手を差し伸べた。

日本の軍国主義による侵略戦争勃発後、内山先生は巨大なリスクを背負いながら、中国の友人たちを保護・支援し、侵略に抵抗する中国人民にとつての貴重な支えとなった。

戦後も、内山先生は中日関係が隔絶・対立という不正常な状態にある中、自身の安危や利害も顧みず、積極的に両国間を奔走しながら、戦争が残した傷跡を癒し続け、民間の友好交流推進に尽力した。

また、日中友好協会の設立

に携わり、初代理事長に就任し、隔絶と憎悪の代わりにより平和と友好を、と力強く訴えた。

1959年、内山先生は中華人民共和国建国10周年記念式典に招かれ、北京を訪れた際に突然の病に倒れ、不幸に逝去し、その遺骨はご遺志に従い上海万国公墓に埋葬された。

習近平主席は、私たちが歴史の経験や教訓を心に刻むよう強調するのは、憎しみを継続させるためではなく、善良な人々の平和への願いと確固たる擁護を呼び覚ますためだと指摘している。

戦争の硝煙は既に消えたが、歴史の傷痕は今なお疼き続け、常に私たちに平和が得られないものであり、歴史を直視し、その教訓を深く汲み取っ

習近平主席は、私たちが歴史の経験や教訓を心に刻むよう強調するのは、憎しみを継続させるためではなく、善良な人々の平和への願いと確固たる擁護を呼び覚ますためだと指摘している。

戦争の硝煙は既に消えたが、歴史の傷痕は今なお疼き続け、常に私たちに平和が得られないものであり、歴史を直視し、その教訓を深く汲み取っ

平和と正義を守り
中日友好の新章を
紡いでいきたい

中国駐大阪総領事館は、管内各界の平和を愛する全ての皆様とともに、歴史を直視し、未来を切り開く精神のもと、歴史の真相を守り、平和と正義を守り、手を携えて中日友好の新章を紡いでいきたいと願っている。

株式会社 田辺産業

代表取締役 田 邊 繁 之

岡山市北区錦町五一五
電話 二二五一四九一

下津井電鉄株式会社

代表取締役会長 永 山 久 人

岡山市北区大元駅前三一六一
電話(代表)二三三八八一

五洋工業株式会社

代表取締役 田 口 晃 大

岡山市北区新屋敷町一六二二六
電話 二四一四六五五

歴史の響きに耳を傾け、 平和の道を歩んでいこう

今年、中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年を迎える。日本の軍国主義が発動したあの侵略戦争は、中国をはじめ、アジア各国の人々に深刻な災禍をもたらし、日本国民もまた大きな痛手を負った。

中国人民は強暴を恐れず、世界の反ファシズム勢力とともに抗戦し、多大な民族的犠牲を払い、最終的に全面的勝利を勝ち取り、世界平和に大いなる貢献を果たした。

歴史は鏡であり、過去を照らすことも、未来を導くこともできる。

世界情勢が錯綜し、地政学的衝突が後を絶たない今、平和の価値が高まり続けている。新たな歴史の節目に立ち、中国はこれからも人類運命共同体構築の旗印を高く掲げ、揺るぎなく平和発展の道を歩んでいく。

地域や世界において重要国である中日両国が、恒久平和と世代を超えた友好を実現することは、一層重要な意義を持つ。

岡山県日中教育交流協議会

会長 鍵 本 芳 明

〒七〇〇-〇九〇二 岡山市北区錦町五一五
電話(〇八六)二二五一五〇八三
FAX(〇八六)二二五一五〇四一

岡山ビジネスカレッジ

校長 西 崎 誠

岡山市北区岩田町三二二
電話 二二三三三三三三
FAX 二二三三三三三三
http://www.obcnet.ac.jp
E-mail:obc@obcnet.ac.jp

黒住教

教主 黒 住 宗 道

〒七〇一-二三二 岡山市北区尾上神道山
電話(〇八六)二八四二二二二
(代表)

五洋工業株式会社

代表取締役 田 口 晃 大

岡山市北区新屋敷町一六二二六
電話 二四一四六五五

（1面から続く）

内容的には、掛軸、色紙、短冊類など、これまで埋もれていた貴重なものが多かった。珍しい各種の書籍類も意外に残されていた。当時の写真も多く残っていた。それらの資料類の整理と、デジタル化を急いでいる段階。

また、記念展示会については、上海会場が、10月19日から同31日まで。会場は魯迅記念館。主催は、上海市人民対外友好協会、虹口人民政府新聞弁公室、岡山市日中友好協会。19日に記念シンポジウム、20日にフォーラムを開催する。上海岡山県人会とも協力して「岡山上海経済フォーラム」（交流会）として開催する計画。

会場ルネスホール
記念シンポと展示

岡山会場は、12月18日、岡山市のルネスホール金庫ギャラリー（旧、日銀岡山支店跡）で、記念シンポジウム（18日）と展示会（18日から21日まで）予定している。

主催は、岡山市日中友好協会と上海市人民対外友好協会、虹口区人民政府新聞弁公室。テーマは「書肆を以て津梁となすー内山完造と日中友好」。

初日の12月18日は、午後1時半からルネスホールで、展示会開会式を行い、引き続き記念シンポジウムをする。上海からも、内山完造研究の専門家が参加、議論することになっている。

展示会は18日から21日まで5日間予定しており、各種貴重な資料の展示や、完造の肉声講演テープの視聴なども計画している。

具体的な内容については、専門家も含めて協会内で詰め、協議を進めている。

岡山市日中友好協会では、10月の上海事業実施に向けて、記念訪中団派遣を計画。上海へ記念訪中団
岡山発着で派遣

スケジュールは10月18日出発で同21日帰着の岡山発着の3泊4日。派遣は15人。上海では、開会式に参加し展示品見学、レセプション参加、記念講演会参加、魯迅墓参、内山完造墓参など。

「ハルビン（哈爾濱）の歴史と今を訪ねる旅」に参加して

他国の歴史や文化を尊重し 敬意を払う必要性を体験

岡山市日中友好協会理事

塚村 淑子



塚村 淑子 氏

私は、この夏7月12日から17日まで、中国・黒龍江省哈爾濱（ハルビン）を、岡山市日中友好協会のメンバーの皆さん等と共に訪問させて頂きました。

滞在中は、旧満鉄哈爾濱支社、旧満鉄俱樂部、旧大和旅館と巡り、哈爾濱駅では安重根義士記念館を見学しました。

日本の歴史の教科書では数行の記載しかない事件の現場が保存され、ホームは今も現役で使用されているとのことでした。

文廟と黒龍江省博物館を経た今回の最大の目的地「侵華日軍七三一部隊罪証陳列館」へ向かいました。

金成民館長に出迎えて頂き、広い館内を見学。当時の資料は多くが撤収時に証拠隠滅のために破壊焼却された中、それでも夥しい数の物が保存されていました。

多くの関係者がアメリカに情報を提供する事で戦犯から免れ、戦後は大学教授や医師として普通に生活していた事実。

しかし、これが皮肉にも米国の公文書として実験データがアーカイブとして保存され、巨大な施設の遺構からも国が関与して組織的に行われたのは明白でした。

館内では、訪問団として献花をさせて頂き、このようなことが繰り返されないと言いたい切れない現在の日本国内での外国人に対する発言の酷さを思い、暗澹たる気持ちになりました。

その後、黒龍江省人民政府

外事弁公室の楊鴻鵬副主任とお話をする機会を得る事ができ、大変貴重な時間となりました。

日本は他国の歴史や文化を尊重し敬意を払うという姿勢が今後一層求められると感じました。

ご芳名は、掲載をご了解された方のみとさせて頂きました。金額は総額208万7572円となりました。敬称略。

掲載順は50音順です。

秋岡 毅、荒木敏雄、市岡幸、一般財団法人林原美術館、伊原木一衛、井原商工会議所、牛田和子、漆間宣隆、江草明彦、王 革、岡崎郁子、岡崎登、岡本 啓、岡山外語学院、尾亦祐司、鍵本芳明、加瀬珠樹、片岡良仁、片山浩子、(株)アジア・コミュニケーションズ、(株)いのうえ、(株)内山書店、

(株)塩飽設計、(株)中国銀行、(株)トミヤコーポレーション、岸田茂樹、木下建治、木待賢逸、國定 剛、黒住昭子、黒住忠正、黒住宗道、黒住宗芳、黒瀬定生、古谷 静、小土井康博、小林辰男、小林央江、小林義明、古谷野 貢、古山コスミ、五洋工業(株)、酒井 誠、桜井浩一、佐藤勝也、島田富美恵、下津井電鉄(株)、宗教法人真言宗御室派長泉寺、杉本幸司、先人顕彰会・井原会長 片岡良仁、高本 均、高山伸康、竹内明文、田中茂登、美、為重大五、塚村淑子、寺坂幸治、土井章弘、土井健太郎、土井基之、鳥越和恵、長尾富佐恵、ナカシマホールディングス(株)、長瀬玲二、ナガセヴィータ(株)、中原富二雄、名合建設(株)、額田信一、則次克美、則次美弥子、幅崎 功、濱家好文子、備中西商工会、福田伸子、船越節子、古田泉、弁護士法人備前法律事務所、星野耕平、洞 富美男、松井三平、松下有加、松田久、三島宣哉、室賀ネジ機工(株)、宮本光研、森田 潔、山内 圭、若林俊正



聖ソフィア大教堂



侵華日軍七三一部隊罪証陳列館



全員で献花し黙礼

内山完造生誕140周年
記念事業ご寄付者ご芳名

2025 酷暑 お見舞い申し上げます 《50音順》	株式会社 レイ ANAクラウンプラザホテル岡山 取締役 岡崎 登 岡山市北区駅元町一五一ー一 電話 八九八一ー一一一	室賀ネジ機工株式会社 代表取締役 室賀 康史 岡山市北区大内田七六ー一三 (ソリュッッセ岡山内) TEL 〇八六二九二ー五五〇〇 FAX 〇八六二九二ー五五八〇	洛陽に縁結んで半世紀 協会副会長 宮本 光研 〒七〇〇一〇八七 岡山市北区南方三ー一〇ー四〇 電話(〇八六)二二二ー三七四五〇	株式会社 トマト銀行 取締役社長 高木 晶悟 岡山市北区番町二ー三ー四 電話(〇八六)二二二ー一〇一〇	株式会社 中外燐寸社 代表取締役 田中 礼一郎 岡山市南区浦安南町五五〇 電話 二六三一ー二二四五
--	--	---	--	--	--

上海から高校生が来岡 岡山南高生と文化交流

岡山県立岡山南高校（岡山市）と交流している上海市浦東新区の上海陸行高級中学から、7月15日から20日にかけて、黄伊雯書記を団長とする訪日団14人が来岡し、南校の生徒等と交流した。

今回訪日したのは同校の民族音楽合奏団に所属する生徒。16日の学校訪問では、揃いの舞台衣装で合奏を披露した。これに比べて南校は、箏曲部が、全国高校総文祭で演奏する曲を披露し歓迎。上海の生徒は、ハイレベルの演奏に感激していた。

一行は、情報処理科や服飾デザイン科などの授業を見学した後、剣道部、弓道部、書道部などの部活も見学。

また、折り紙や茶道で生徒同士の交流を体験、終業式にもゲストとして参加。黄団長と生徒代表が挨拶し、オンラインで全校生徒に紹介され演奏の動画も流された。

17日には日帰りで京都を訪問し、同志社女子大学を訪問した後、嵐山を見学した。あいにくの大雨だったが、生徒は元気に京都見学を楽しんでいた。



茶道の体験



終業式でのあいさつ

上海の青少年と 日中剣道交流

スポーツの剣道と取り組む上海の青少年を岡山に招いての日中剣道交流が、今夏、岡山で開かれる。練習場所は剣聖・武蔵の故郷、美作市。三日間にわたって、元気な子供たちの気合の籠った声が響き渡る。

計画によると、中国側の派遣団体は上海市剣道運動協会、招請団体が岡山市日中友好協会。

子供たちは4歳から17歳までの16人。それにコーチ5人と父兄2人を加えた総勢23人。一行は8月17日来岡し、同23日まで滞在する。

練習会場は、美作市の宮本武蔵顕彰武蔵武道館。

指導は、教士八段の竹内司氏（勝央町職員）を中心に、毎日午前、午後各3時間みっちり練習メニューをこなすという。

期間中、岡山県高等学校剣道大会が開かれ、見学もする予定。中国の青少年剣道が岡山で交流するのは初めて。

松本日中友好協会 10月に来岡し研修

松本日中友好協会（長野県松本市）と本協会との交流研修会が、10月26、27の両日、岡山県内で開かれる。

この交流は、松本日中の相澤孝夫会長が本協会の講演会に講師として参加されたこと

を機に始まったもの。昨年は岡山側から8人が松本を訪問し懇談している。

今年は松本側から約10人が来岡、研修会、懇親会を開き、意見交換や活動報告し交流、牛窓地域も見学する。

活動日誌・・・

3/20…片山浩子相談役、山陽新聞賞受賞祝賀会（岡山プラザホテル）

3/28…中国人民対外友好協会楊万明会長歓迎会（ANAクラウン岡山）

4/5…内山完造研究会（協会）

4/8…大阪総領事館新春レセプション（リーガロイヤル大阪）

4/7…中銀上海能登事務所長来局（協会）

4/12…日中友好の歌レコーディング（商大孔子学院）

4/16…井原市教育委員会（井原市役所）

4/22…岡山市民訪問団（洛陽・上海、26）

4/30…玉野市立荘内中学校（校長室）

5/7…市民訪問団反省会（林原美術館）

5/10…県日中教育交流協議会総会・理事会（生涯学習センター）

5/24…協会理事会（協会）

6/3…岡山市立中央図書館訪問（内山資料借用依頼）

6/6…井原市文化財センター、成福寺、写真

撮影（伊東氏、内山資料）

6/14…竹内司先生、梶原修先生との日中青少年剣道交流打合せ（ファミレス）

6/17…山陽新聞社松田正巳会長訪問（土井会長、黒住副会長。本社）

6/25…内山展示会打ち合わせ（江草、松井。協会）

6/28…ハルビン訪問旅行説明会・事前学習会（協会）

6/30…江西省訪日団歓迎会（県主催、まきび）

7/9…県日中懇話会理事会（国際交流センター）

7/12…ハルビンの歴史と今を訪ねる旅（9名、15）

7/15…上海陸行高級中学訪日団来岡（岡山南高校、京都、倉敷、19）

7/24…内山展示会打合せ（江草、猪木、松井。協会）

8/6…半田山植物園、牡丹園の要望（土井会長、松井）

8/8…会報「岡山と中国」発行・発送（協会）

先憂後楽・・・

▼戦後80年の今年、マスメディアでは様々な特集や企画が行われている。そのほとんどが、日本が受けた被害の歴史に対する検証や「今の日本の平和と繁栄があるのはその方々の犠牲にあることを忘れてはならない」という論調になっている。このことに異議を唱える人は少ないだろう▼

一方、日本には明治以降、様々な大義を掲げて、中国をはじめアジア各国への侵略と植民地政策により膨大な犠牲と損害をもたらした加害の歴史がある▼今年に入ってその残酷性についての映画が次々と公開されている。7月31日から、第二次大戦前に日本軍が行った人体実験による細菌兵器製造の「七三一部隊」を描いた映画が、中国で全国一斉に公開予定。南京大虐殺を描いた映画は既に上映されている。韓国映画では「ハルビン」が岡山・シネマクレールで上映された▼私たちは戦後80年に際し、被害と同時に加害の歴史にきちんと向き合うことが求められている。認めたくない歴史に対して「なかったことにする」ことは許されない。事実を事実として振り返り、反省し、謝罪し、その上でこそ良い関係を築く未来展望が生まれると確信する▼7月には協会として「ハルビンの歴史と今を尋ねる旅」を企画し9名の方が参加された。そして協会の今年最大の活動である「内山完造生誕140周年」事業で、日中戦争の真ただ中で日中の人と人をつなぎ、友好を築いた内山完造先生の顕彰活動等を通じて、歴史に逆行するような政治勢力の動きを止める草の根活動を強化したい。

（松）

故 牛田和子さんを悼む

趣味多彩 若々しく 頼りがいあつて

長年、当友好協会の理事をお務めくださった牛田和子さんが、4月16日、体調急変によりご逝去されました。享年83歳でした。

本当に突然のことで、私を含め日ごろお付き合いのあった方々も皆さん信じられない気持ちでした。

牛田さんは、いつもご年齢を感じさせないほどお元気で若々しく、行事等の際には裏方の仕事を率先して行ってくださる頼りになる方でした。

友好協会の活動に積極的に関わってくださり、いろいろとご一緒したことを懐かしく思い出します。



在りし日の牛田和子さん

山登りやカメラ撮影など趣味も多彩。日常生活の知恵も豊富で、いろいろとご指導いただきました。まさに私たちが目指したい人生の大先輩でした。ありがとうございました。

理事会の場にいらっしゃらないのが大変寂しいこの頃です。ご冥福をお祈りし、これからも関連な牛田さんのお姿を思いおこしながら、友好発展のためにがんばりたいと思っています。

（副会長 黒住昭子）